

## 第2回絆づくりこうなん実行委員会 会議要旨

日時：平成23年9月16日（金） 午後2時～4時

場所：市民・協働ステーション（情報センター2階）大会議室

議題：(1) 企画案について  
(2) その他

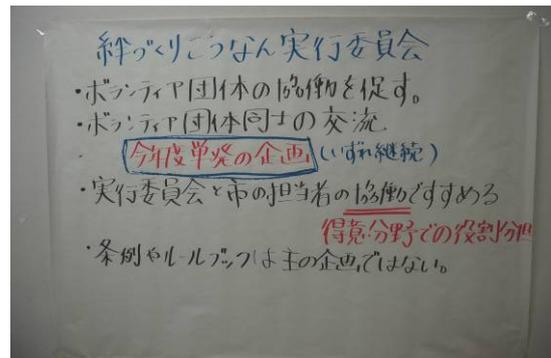
### ■絆づくりこうなん実行委員会の趣旨について

◆絆づくりこうなん実行委員会のもとにある考えや主なねらいについて、再度参加者全員で確認しました。

《絆づくりこうなん実行委員会のミッション》

NPOを中心とした、NPO同士が知り合う場の企画・運営・評価を行う。

- ・NPO・ボランティア団体の協働の促進
  - ・NPO・ボランティア団体同士の交流
- } 今年度単発の企画を検討する。
- ・体制は、実行委員会と市担当者の「協働」で行う。  
※ここで言う「協働」は、得意分野の役割分担。  
委員会は企画・運営・評価、市担当者は主に会場手配や文書の作成・配布、資料の準備等を行う。
  - ・まちづくり基本条例や協働のルールブックなどが主の目的ではない。

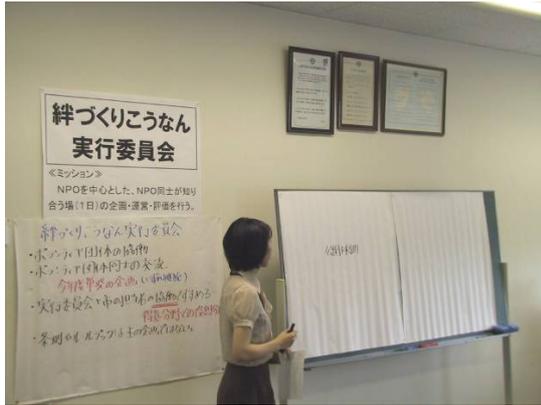


### (1) 企画案について

#### ■絆づくりこうなん実行委員会への期待

- ・公園は、地域住民のたまり場、コミュニティ形成の場であると思うので、公園を拠点にした交流会を行いたい。特に、市民の健康増進にもつながる「公園フィットネス」を企画したい。
- ・大学で空間デザインを学んでおり、商店街の有効利用に興味がある。でも何よりもまずはアンケートを行って、今の問題点や必要とされている企画をヒアリングしたい。
- ・商店街に人が集まるように、商店街から江南の魅力を発信したい。今、人が集まる場所として「市」が見なおされているが、商店街で朝市をするなど、今ある企画を見直して発信してもよいと思う。
- ・地域を変える必要があると思っている。地域からNPOに呼びかける仕組みづくりや、地域アドバイザーをおくなどの、継続的に地域活動を取り組める仕組みづくりが必要だと思う。
- ・NPO・ボランティア団体の関係者は、色々な場で



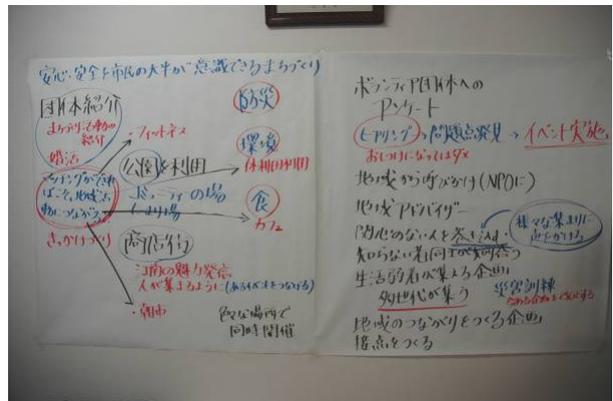


活躍してみえるのですでにとっても忙しい。関心のない市民をどう巻き込んでいくかを考えていく必要がある。

- ・市には文化協会や体育協会など、様々な団体の集まりがある。そういった集まりに声をかけるなど、周知方法を工夫して、知らない者同士が知り合う場を企画したい。
- ・普段の活動で高齢者と接する機会があり、独居老人の問題に関心がある。生活弱者も集える企画、多

世代が集う企画を考えたい。

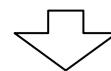
- ・江南市へ引っ越してきた際、郊外の生活には都会にはない地域のつながりがあるだろうと期待してきた。しかし、むしろそのつながりは弱いように感じて寂しく思った。地域のつながり・人と人との接点生まれる企画を考えたい。
- ・東日本大震災があって、「防災」への関心が高まっている。「防災」をテーマにした企画はどうか。現在、防災訓練は小学校区ごとに行われているが、実際に災害が起きてしまった際に有効な訓練か疑問がある。今ある企画を見直すのもよいと思う。
- ・「環境」をテーマに休耕田を利用した菜の花プロジェクトや、「食」をテーマに今ある店を元気にする集いカフェを実施したい。高齢者の生きがい、居場所づくりを行いたい。
- ・実行委員会のミッションは、「NPO 同士が知り合う場の企画・運営・評価」である。よって、NPO 同士が知り合った成功例として、市の補助金「江南市地域まちづくり補助金」の過去採択事業の事例発表を聞いてはどうか。また、NPO の婚活の場となるように、普段の活動を紹介する場の企画を考えたい。
- ・今回は協働して何かを実施する前段階、協働を「促進」する企画検討がミッションである。この企画で NPO の婚活が成功すれば、市内にいろいろなまちづくり活動が生まれると思う。



## ■実際に何を行うか？

- ・フラワーパーク江南で遊ぶ会（避難経路ウォーキングで会場集合）
- ・江南音楽祭
- ・子どもサイエンスクラブ
- ・昔あそび
- ・アダプト体験
- ・コミュニティレストラン
- ・料理教室（地産地消）
- ・来ていただいた方とお茶や食事を楽しむ会

市内各地で様々なイベントを実施してはどうか？



平成 23 年度中の実施に間に合うか？